

■ 次の文の——線の敬語の使い方が正しいほうに○をかきましよう。

(1) 父は来週の月曜日に学校にいらっしゃると申していました。

○ 父は来週の月曜日に学校にうかがうと申していました。

自分や自分に関係する人の動作を言うので、けんじよう語を使います。

(2) お客様が、私たちのクラスの劇をご覧になることになった。

○ お客様が、私たちのクラスの劇を拝見することになった。

相手をおう敬う気持ちを表すので、尊敬語を使います。

(3) 先生に「今度、私の家にいらっしゃってください」とお願いした。

○ 先生に「今度、私の家に関係する人の動作を言うので、けんじよう語を使います。」

(4) 市長も町内会の祭りにご参加するそうです。

○ 市長も町内会の祭りにご参加になるそうです。

相手をおう敬う気持ちを表すので、尊敬語を使います。

(5) 学芸会のはじめに、校長先生がお話しになる。

○ 学芸会のはじめに、校長先生がお話しになられる。

尊敬語には「——れる(られる)」「を言う言ひ方もありますが、同じ尊敬語の「お——になる」と重ねて使うのは、正しくありません。

(6) 先生が「大事なことから覚えておきなさい」とおっしゃられる。

○ 先生が「大事なことから覚えておきなさい」とおっしゃられる。

尊敬語の「おっしゃる」と同じ尊敬語の「——れる(られる)」「を重ねて使うのは、正しくありません。」

